

- GS ガソリンスタンド
 - 急速充電EVQuick
 - コンビニエンスストア
 - 普通充電
 - 道の駅
 - 温泉
 - トイレ
 - 観光案内所
 - [] マップコード **MAPCODE**
- ※いずれも複数あるエリアは省略。

知床五湖フィールドハウス
 知床五湖の地上遊歩道を散策する入り口で、入場手続きとレクチャーを行っています。地上遊歩道は、5つの湖すべてを回る大ルートと、2つの湖を回る小ループを選択できます。【期間】4月下旬～11月下旬【時間】8:00～18:00(閉館は時期により変動)☎0152-24-3223

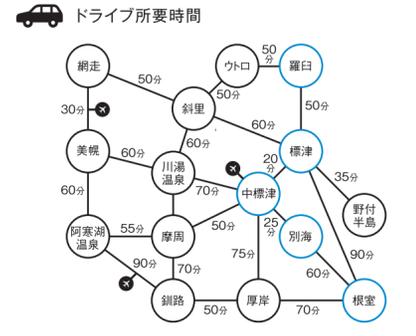
知床自然センター
 フィールドを知り、楽しむためのビジターセンターとして2016年4月にリニューアルオープンしました。最新の自然情報の提供やアウトドアグッズの販売、レンタルも行っていきます。【時間】8:00～17:30(4/20～10/20)/9:00～16:30(10/21～4/19)【休】年末年始・12月毎週水曜日☎0152-24-2114

知床世界遺産センター
 迫力ある自然解説パネルや、動物の痕跡を再現した模型などを展示し、知床の自然を楽しく学ぶことができます。自然の魅力や世界遺産のマナーに関するビデオも上映しています。【時間】8:30～17:30(4/20～10/20)/9:00～16:30(10/21～4/19)【休】無休(4/20～10/20)、火(10/21～4/19)、12/29～1/3☎0152-24-3255

世界自然遺産 知床
 海から陸へつながる生態系、希少な動植物の生息地、これらを保全する管理体制が整っていることが評価され、2005年7月17日知床が世界自然遺産に登録されました。

ルサフィールドハウス
 知床岬や知床岳など、深い自然の地に足を踏み入れる登山者やシカヤッカーに現地情報を提供しています。展示コーナーでは、海洋生態系と陸上生態系の相互関係や、知床の人と海の関わりなどを知ることができます。【期間】5～10月【時間】9:00～17:00【休】火☎0153-89-2722

羅臼ビジターセンター
 知床国立公園の羅臼の玄関口として、知床羅臼の自然や文化の情報を提供している施設です。はく製、標本、映像、写真など多数の資料が展示されており、羅臼の自然の1年を紹介したハイビジョン映像を上映しています。【時間】9:00～17:00(5～10月)/10:00～16:00(11～4月)【休】月(7～9月は無休)、年末年始☎0153-87-2828



- 主要交通機関問合せ先**
- 阿寒バス ☎0154-37-2221
 - 斜里バス ☎0152-23-3145
 - 根室交通 ☎0153-24-2201
 - しろバス ☎0154-36-8181
 - 網走バス ☎0152-43-4101
 - 根室 中標津空港 観光案内所 ☎0153-73-5651
 - たんちよう 釧路空港 観光案内所 ☎0154-57-8304
 - 女満別空港 観光案内所 ☎0152-74-4182

その他の交通情報は右記サイトからご覧ください。>>>

2024年3月発行

札幌 ⇄ 遠軽瀬戸瀬 (236.2km)
 新千歳空港 ⇄ 遠軽瀬戸瀬 (275.5km)

札幌(北郷) ⇄ 阿寒 (269.1km)
 新千歳空港 ⇄ 阿寒 (249.9km)

深い自然がまっている
知床ねむろ
 歴史探訪
 ガイドマップ

いのちのドラマが生きるとこ



北海道根室振興局
 知床ねむろ観光連盟



野付半島ネイチャーセンター
 日本最大の砂嘴である野付半島の、自然や歴史についての情報を提供している施設です。一階では観光案内や特産品の販売、二階では自然や歴史の展示、解説などを行っています。【時間】9:00～17:00(4～9月)/9:00～16:00(10～3月)【休】12/30～1/5☎0153-82-1270



ラムサール条約登録湿地 野付半島・野付湾
 全長約26km、日本最大の砂嘴・野付半島と、半島に囲まれた野付湾。野鳥の楽園と言われ、これまで250種類以上の野鳥が観察されています。多い時で2万羽の渡り鳥が飛来し、特にコガンの国内最大の中継地となっています。夏・秋は北海道遺産「打瀬角」で北海道しまい漁が行われています。



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
 レンジャー(自然専門職員)が常駐し、自然環境の調査や利用者の方々へのさまざまなサービスを行っています。【時間】9:00～17:00(4～9月)/9:00～16:30(10～3月)【休】水(祝日の場合翌日)、祝日の翌日、12/29～1/3☎0153-25-3047



ラムサール条約登録湿地 風連湖・春国岱
 風連湖は、周囲約96kmの汽水湖で、レンジャー、砂丘など変化に富んだ自然環境が広がっており、春国岱と合わせると日本で見られる半数以上、約340種の野鳥が観察されます。春国岱は、長さ8km、幅1.3kmの長大な砂洲。砂丘上に生ずるアカソマツの原生林は世界的にも珍しく、学術的にも貴重なものです。



特急ねむろ号
 しろバス・根室交通
 太平洋



A B C D E



知床 ねむろ

ってどんなところ？

根室海峡の向こうに北方領土・国後島を望む地域。海峡独特の地形がもたらす豊富な漁業資源を求め、先人たちが古くからこの地で暮らしを築いてきました。彼らは、時折厳しさを見せる自然と共存する独自の文化を形成し、他に類を見ない雄大な自然の姿を残してくれました。自然本来の恵まれた条件と、人々が築いてきた暮らしや産業が融合してつくられたこの地域は、日本にいながら、まるで異国に来たような風景を見せてくれます。

知床ねむろ 楽しむためのアドバイス

- 夏でも長袖の上着を忘れずに1枚は用意しましょう。
- ラジオの電波が無い所は、お気に入りの音楽を。
- お日様の動きにあわせて刻々と変わる風景を眺めて過ごすのも、おすすめ。
- 飛び出すのは子ども・自転車ではなく、野生動物。
- 道や天気の話は地元の人に聞いてみましょう。
- ガソリンは1/3を切ったら忘れずに給油しましょう。

通行止めや気象情報 北海道開発局北海道地区道路情報

目的地までの距離と時間検索 北の道ナビ

道路の異常に気付いたら 道路緊急ダイヤル#9910 (24時間)

運転中、位置を確認したいときは キロポスト (道路標識)



知床・ねむろ地域は、夏でも日中は気温が上がりますが、風が涼しく湿度も低いので過ごしやすく快適と感じるでしょう。夜になると気温が下がり、寝苦しさを感じることはほとんどありませんが、寒さ対策が必要です。冬は非常に寒さが厳しく、気温がマイナスになります。帽子、手袋、上着でしっかり防寒しましょう。保温性の高い肌着を利用するのもおすすめです。



制作 北海道根室振興局・知床ねむろ観光連盟
お問い合わせ 根室中標津空港案内所 ☎0153-73-5651
イラスト:池田蔵人

歴史探訪ガイド

根室海峡沿岸地域は、最初の人々が定住した縄文時代以降、絶えず暮らしが続き、この地域の豊かな自然の恵みを利用しながら、オホーツク文化やトビニタイ文化といった独自の文化を形成してきました。その足跡が色濃く残る出土物や遺跡を訪ねてみましょう。



(話してくれた人)
標津町ボー川史跡自然公園
小野哲也さん

「アイヌ文化は自然と共存し、その恵みを飽やさぬように利用する文化です。知床や野付をはじめ、今ある自然を残してきた人たちの歴史を体感していただけたいと思います。」

Point 1 この地の人々が定住した縄文時代

根室海峡沿岸地域で、人々が最初にこの地の自然に根ざして生きることを決意したのは、今から1万年前の縄文時代早期。長い氷河期が終わり、地続きだった国後島との間に海が広がり、根室海峡が誕生した時代です。豊富な湧き水や、多くの海獣や鳥が生息する狩猟のフィールドなど、生活に十分な資源があったことが、定住に適していた理由です。まさに現代と同じで、住む環境が整っていて、「仕事」があったから人々が集まっていたのですね。



Point 2 アジアのバイキングがやってきた

本州以南の弥生時代・古墳時代、北海道は続縄文時代を迎えます。この時代の終盤、大陸からオホーツク海を渡り、北方系民族の人々がやってきました。彼らは操船技術に長け、知床・ねむろの豊富な海獣を追い求めて移動した人々で、「アジアのバイキング」とも呼ばれています。海獣の肉や毛皮を活用する技術も高く、本州や大陸の人々との交易により、文明諸国の品々を手に入れました。やがて彼らは知床・ねむろで、独自のトビニタイ文化を築いていきます



Point 3 アイヌ社会の心の拠り所となったチャシ

アイヌ文化期のごころ、道内各地に「チャシ」と呼ばれる構造物が多数築かれます。チャシ本来の役目は、自然の中に住む神々との交信の場でしたが、時代と共にアイヌ同士の談判の場、監視場、戦いのための砦など、さまざまな役割を持つよう変化していきました。知床・ねむろにたくさんあるチャシ跡を訪れ、アイヌが独自の歴史を歩んだ時代の息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

Point 4 歴史が大きく動いた、クナシリ・メナシの戦い

江戸時代中期の1789年に起きたクナシリ・メナシの戦いは、日本列島北辺の歴史を大きく変えるきっかけを生み出しました。当時北海道は蝦夷地と呼ばれており、蝦夷地を管轄していた松前藩は、アイヌを奴隷のように扱っていました。この扱いに反発したアイヌの若手リーダーたちが、和商人が築いた漁場の支配人らを殺害した事件が、クナシリ・メナシの戦いです。事件は道東アイヌの有力者12名の力で止められ、首謀した37名のアイヌ若手リーダーが処刑され終結します。当時の首長たちの姿が、絵画「夷酋列像(いしゅうれつぞう)」として残されています。クナシリ・メナシの戦いの結果、千島列島を南下して蝦夷地に迫るロシアの存在が江戸幕府の知るところとなりました。それまで外国と見なされてきた蝦夷地は、この事件以降、徐々に日本の中へと組み込まれていきます。



Point 5 アイヌと共にこの地を 発展させてきた会津藩士

クナシリ・メナシの戦い以降、日本とロシアの接触が繰り返されます。1855年には択捉島とウルップ島との間に正式に国境が設けられました。この国境整備のため蝦夷地に東北諸藩が派遣され、根室海峡沿岸からオホーツク海沿岸を受け持ったのは会津藩でした。会津藩士・南摩綱紀は、アイヌと和人が共に生きるには互いの価値観の違いを理解し合うことが重要と考え、アイヌ語による教育活動に注力します。「標準番屋屏風」には、和人とアイヌが共に生きるまの姿が描かれています。

| | | | | | | | | | | |
|--------|------------|----------|-------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-----------|
| 日本(本州) | 紀元前14000年頃 | 紀元前300年頃 | 592年頃 | 710年 | 1185年 | 1336年 | 1467年 | 1573年 | 1603年 | 1868年 |
| | 縄文時代 | 弥生時代 | 古墳時代 | 奈良・平安時代 | 鎌倉時代 | 室町時代 | 戦国時代 | 安土桃山時代 | 江戸時代 | 大政奉還 明治維新 |
| | | | | | | | | | | |

縄文・続縄文時代

この時代の資料が充実!

根室海峡沿岸地域では、縄文時代から人の定住が始まりました。日々の生活に必要なものを周囲の自然から手に入れる狩猟と採集の暮らしが、本州以南の弥生時代・古墳時代のころにも続きます。続縄文時代と呼ばれる、北海道が独自の歴史を歩み始めた時代です。

トビニタイ文化

9~13世紀

7~13世紀の北海道では、擦文式土器を使用し狩猟や採集を生業とする擦文文化が栄えました。7~9世紀の知床ねむろには、北方からオホーツク文化を担う人々が移住。彼らの一部はここを永住の地とし、10世紀にはトビニタイ文化と呼ばれる特有の文化を築きました。

アイヌ文化期(前期)

この時代の資料が充実!

アイヌ文化期には、各地域固有の「アイヌ文化」が生まれます。知床ねむろのアイヌの人々は、豊かな自然資源を活かして周辺地域との交易を行い、自立性の高い社会を築きます。一方でこの豊かな自然資源は、和人の北海道への進出と摩擦を呼び、自律的アイヌ社会は解体されていきました。

アイヌ文化期(後期)

この時代の資料が充実!

蝦夷地に和人が出入りするようになると、疫病や過酷な労働がアイヌ社会を疲弊させました。幕末の探検家・松浦武四郎は蝦夷地内国化にはアイヌの救済が必要と訴えます。会津藩士・南摩綱紀はアイヌの人々をいたわり、和人とアイヌが共に生きるサケ漁のまちの礎を築いていきました。

明治時代以降

根室海峡沿岸地域にまちの礎を築いた会津藩士たちは、戊辰戦争の始まりにより本国へと撤退します。戊辰戦争が終結すると、蝦夷地は「北海道」と命名され、正式に日本の一部となりました。サケ漁を中心とした漁業のまちとして発展した根室海峡沿岸地域では、東北や北陸地方からの移住者を迎えながら、コンブやホタテ、ホッカイシマエビ漁など漁業の多角化が進みます。明治末期には根釧台地の開拓が進められ、格子状防風林に象徴される現在の酪農景観が誕生しました。

知床ねむろの歴史を語る拠点 標津町ボー川史跡自然公園

標津 春 夏 秋 冬 MapB

知床周辺の歴史、文化、自然が融合した野外博物館。縄文時代からアイヌ文化の時代までの資料を有する歴史民俗資料館と開拓の村、国指定天然記念物標準渚原、国指定史跡伊茶仁カリカリウス遺跡の3つのエリアがあります。伊茶仁カリカリウス遺跡は、根室海峡沿岸エリア最古の人類定住遺跡であると共に、オホーツク文化集団が永住の地と決め、トビニタイ文化を育む中心となった場所です。【期間】4/29~11/23【時間】9:00~17:00(入園は16:30まで)【V】大人330円(子供料金あり)【問】標津町ボー川史跡自然公園 ☎0153-82-3674 ※ボー川でのカヌー体験については ☎0153-85-7226 (南知床標津観光協会)

擦文文化とアイヌ文化が交わる遺跡 西月ヶ岡遺跡

標津 春 夏 秋 冬 MapE

約350基の竪穴群が密集。擦文時代後半のものと思われる、内耳土器の出土などからアイヌ文化期との関わりが指摘されています。【問】根室市歴史と自然の資料館 ☎0153-25-3661

オホーツク文化の貴重な資料が多数 羅臼町郷土資料館

羅臼 春 夏 秋 冬 MapB

羅臼は縄文時代から北方民族が行き来した地。擦文文化とオホーツク文化、トビニタイ文化の3つの文化期の遺跡があります。7~8世紀頃松法川河口近くにあった集落跡から発掘された出土品は、国の重要文化財指定。土器や石器に加え、熊頭注口木製槽など炭化した木製品は、オホーツク文化の生活実態を解明する上で類品のない資料です。指定された260点は、羅臼町郷土資料館で保管し、大部分を重要文化財展示室で一般公開しています。漁業や生活の用具、野生動物や海洋生物の剥製なども展示されています。【時間】9:00~17:00(休) 祝祭日、年末年始(夏期は無休)【問】羅臼町郷土資料館 ☎0153-88-3850

アイヌ文化の原型が見える遺跡 三本木遺跡

標津 春 夏 秋 冬 MapB

オホーツク文化期の遺跡。根室海峡沿岸に残るオホーツク文化の集落の中でも良好な保存状態を保っていて、巨大な竪穴住居跡の窪みを観察することができます。【問】標津町ボー川史跡自然公園 ☎0153-82-3674

チャシについて

一般に「砦」と解釈されていますが、本来は地域のカムイ(神)への祈りの場と考えられています。現在北海道内で500カ所以上残るチャシ跡の多くは、小高い丘の上などに掘られた溝で区画された遺跡として確認されています。

標津 MapD 春 夏 秋 冬

標津タム山チャシ跡

茶志岩川右岸の丘陵に残るチャシ跡。知床連山から国後島まで、根室海峡北部を一望できる断崖上に築かれ、加賀家文書にはここにまつわる絵回も残されています。【問】標津町ボー川史跡自然公園 ☎0153-82-3674

根室 MapE 春 夏 秋 冬

ノソカマフチャシ跡ほか

クナシリ・メナシの戦いと関連性が高いことから「根室半島チャシ跡群」として国指定史跡に指定されています。また、日本100名城のひとつにも選定されています。【問】根室市歴史と自然の資料館 ☎0153-25-3661

漁業の安全と大漁を願って創られた神社 標津神社

標津 春 夏 秋 冬 MapD

1770年代にクナシリ・メナシの戦いのきっかけとなった飛騨屋久兵衛が、海上安全と大漁を祈願して創建した根室管内最古の起源を持つ神社。境内にはその歴史を物語る奉納品が残されています。【問】標津神社社務所 ☎0153-82-2038

江戸時代末期の野付の様子が見られる古文書 加賀家文書館・別海町郷土資料館

別海 春 夏 秋 冬 MapD

江戸時代末期に野付半島等で活躍した加賀家の古文書資料を収蔵・展示しています。【時間】9:00~17:00【休】第2・4月曜、第1・3・5日曜、土曜(第2・4除く)、祝日、年末年始【Y】350円【問】別海町郷土資料館 ☎0153-75-0802

野付半島の歴史の情報はここで 野付半島ネイチャーセンター

別海 春 夏 秋 冬 MapD

3,000年前の半島形成以降、時代ごとに様々な半島に利用された半島の歴史について出土品や、パノールの展示をしています。【時間】9:00~17:00(4~9月)/9:00~16:00(10~3月)【休】12/30~1/5【問】野付半島ネイチャーセンター ☎0153-82-1270

戦いで亡くなった和人の墓碑 寛政の蜂起和人殉難墓碑

根室 春 夏 秋 冬 MapE

クナシリ・メナシの戦いで亡くなった和人71人の墓碑。納沙布岬の傍らに建てられ、墓碑の文字は今でも読み取れます。【問】根室市歴史と自然の資料館 ☎0153-25-3661

オホーツク文化やアイヌ文化がわかる 根室市歴史と自然の資料館

根室 春 夏 秋 冬 MapE

1942年に大湊海軍通信隊根室分遣所として建設。オホーツク文化期の資料や樺太北緯50度線上にあった国境標石などが展示されています。【時間】9:30~16:30【休】月、祝祭日(月曜が祝祭日の場合火曜休館)、年末年始【問】根室市歴史と自然の資料館 ☎0153-25-3661

高田屋嘉兵衛ゆかりの神社 金刀比羅神社

根室 春 夏 秋 冬 MapE

高田屋嘉兵衛により創建され、200年以上の歴史をもつ日本最東端の有人神社。「神輿お祭り資料館」併設。【時間】18:30~17:00【問】金刀比羅神社社務所 ☎0153-23-4458

会津藩士たちに敬意を表する 会津藩士の墓(野付半島)

別海 春 夏 秋 冬 MapD

江戸時代末期より陣屋の建設や警備にあたった会津藩士が手厚く葬られ、現在は町民の手によって会津藩旗が掲げられています。【問】標津町ボー川史跡自然公園 ☎0153-82-3674